

SOROPTIMIST INTERNATIONAL OF YAMANASHI



# クラブ会報 No.19

1994年9月～1995年8月

国際ソロプチミスト山梨



## ご挨拶

会長 上原 桂子

山梨に奉仕の灯をともして19年間の尊い道のり、この重責を引き継ぎまして、歴代会長、理事会、そして会員の皆様のお力添を頂きながら、心を新にして半道中を歩んで参りました。会長就任して2日目の行事、チャリティバザーも大きな成果を得る事が出来、この時ほど力の一つにした喜びを肌で感じたことはなく、感謝のスタートでした。秋には奉仕先の施設、ライトハウスの「ふれあい福祉祭」の一日施設長を務めさせて頂き、二重苦、三重苦の方々と接する機会を得ました。陶芸とか、手すきハガキ作りに、障害を乗り越えて、頑張っている姿に、大変感銘を受け福祉への理解を深める事の出来た、意義ある一日でした。又4月には3名の新会員をお迎えする事が出来ました事は喜びでございます。委員会活動にも積極的にご参加下さり、これからを大いに期待しております。過日の阪神淡路大震災、突然の惨事に心痛む思いが致しました。その遺児達に激励金を贈ろうと、チャリティゴルフ大会を計画しました処、大勢のご参加を頂き、その善意の純益が、遺児達を励ます一助となりました。その折には姉妹クラブの皆様にもご協力頂きました事を御礼申し上げます。そして5年前より、S I 武蔵野のSクラブ、藤村学園の生徒様と、会員の皆様が毎夏ご来訪下さり、手作りの人形劇を、山梨県ボランティアセンターに於いて、子供達を中心に楽しませて頂いております。私共Sクラブの湯田高等学校の生徒も出席して、交流を深めておりますし、この様な場を通して、両会員の友情の輪も広がっております。そして今期最後に吉報が届きました。青少年ボランティア賞に大村祐司君内定のお知らせでした。奉仕活動一筋の大村君に拍手を送り、これからの活躍を期待したいと思います。又最終例会は涼を求めて、河口湖のホテルにて行いました。私自身の、足あとを振り返り反省の多い舵とりでしたが、前になり後ろになりお支え下さった会員の皆様と共に、例会後は親睦を深めながらの楽しい夕食となりました。この一年間ソロプチミストの活動だけでなく、地域の奉仕団体、婦人団体との交流と、席の温まる時もなく、大変貴重な経験をさせて頂きました。又数々のご援助、そして行事も、会員皆様のご協力で、無事消化出来ました事を御礼申し上げます。来期は節目の年、20周年に向けて、会員相互の和を一層に大切にしながら、地域そして社会の為に奉仕活動を続けますと共に、クラブの成長発展のために努力して参りたいと思っております。どうぞ会員お一人、お一人のお力添をお願い申し上げご挨拶と致します。

# 年間クラブ活動報告

1994年9月～1995年8月

年月日	活 動	場 所
'94年9月2日	第19回チャリティーバザー実施	岡島デパート7階
9月6日	クラブ委員長会議 午前プログラム委・午後テクニカル委(年間計画)	県ボランティアセンター
9月14日	赤い羽根共同募金協力	県民会館内共同募金会
9月17日	〃シンフォニーアジア、実行委員会(イベントと日程について)出席	県国際交流センター
9月26日	県障害者福祉ふれあい会議(設立総会準備)出席	県自治会館講堂
9月30日	〃シンフォニーアジア、式典出席	県立文学館講堂
10月4日	日本東リジョン研修会出席	東京ニューオータニH・鶴の間
10月22日	献眼、献腎推進街頭キャンペーン参加	山梨中央銀行本店前
10月23日	ライフ&フィットネス IN ネットワーク(県在住外国人との交流会)出席	甲府市リバース和戸体育館
10月24日	日本財団年次大会出席	千葉浦安
10月30日	〃黄色いハンカチ、バザール手伝い	山梨中央銀行本店前
11月5日	甲府湯田高等学校Sクラブとの懇話会実施	甲府湯田高等学校
11月9日	ソロプチミストの森秋季清掃	
11月12日	S1山梨-南チャリティーバザー手伝い	富士川ふるさと工芸館
11月13日	県障害者福祉ふれあい会議(設立記念事業について)出席	県自治会館
11月19日	規約手続委員会(連盟細則改正、決議案に対する郵便投票について)	橘田委員長宅
11月20日	留学生と県民の集い(国際卓球大会)参加	県国際交流センター
11月27日	白い杖運動協力一日施設長	県ライトハウス
11月30日	腎バンク理事会出席	ニュー芙蓉
12月2日	94年チャリティーディナー実施	甲府富士屋ホテル
12月3日	高令化時代の男女共生学講演会参加	県総合婦人会館
12月6日	県内4クラブ会長会議	古名屋ホテル
12月11日	県ボランティアセンター大掃除参加	
12月12日	規約手続委員会(1/31提出クラブ手続について)	古名屋ホテル
12月18日	ユニセフハンドインハンド街頭募金参加	山梨中央銀行、岡島デパート前
12月19日	4奉仕委員会合同会合(山梨ライトハウス、青い鳥老人ホーム外クリスマス慰問について)	古名屋ホテルロビー
12月24日	山梨ライトハウス、青い鳥老人ホーム、成人寮クリスマス慰問	山梨ライトハウス
'95年1月16日	例会後新年会	古名屋ホテル
1月20日	95年県総合婦人会館フェスティバル参加	県総合婦人会館
1月27日	新入会員説明会	古名屋ホテル
1月27日	第5回ユースフォーラム県ブロック予選4クラブ合同打合せ会	古名屋ホテルロビー
2月2日	第2回チャリティーゴルフ実行委員会打合せ	談露館
2月4日	甲府湯田高等学校Sクラブ卒業生(26名)を送る会実施	甲府湯田高等学校

年月日	活 動	場 所
2月12日	第14回青少年ボランティア弁論大会出席	県ボランティアセンター
2月17日	「県女性の集い」研修会参加	県総合婦人会館
2月20日	プログラム例会 卓話“消費と環境、講師・県環境局長 篠原敏彦様	古名屋ホテル
2月24日	新入会員勉強会	古名屋ホテル
2月25日	甲府市民フォーラム'95参加	甲府市総合市民会館
3月3日	甲府湯田高等学校卒業式出席	甲府湯田高等学校
3月3日	チャリティーゴルフ実行委員会諸準備打合せ	古名屋ホテル
3月10日	チャリティーゴルフ大会要項打合せ、印刷依頼	上原会長宅
3月14日	ユースフォーラム参加要請、高校訪問	私立山梨英和高等学校
3月17日	県緑の基金評議委員会出席	古名屋ホテル
3月20日	県骨髄バンクを推進する会への支援、協力	古名屋ホテル
3月20日	プログラム委員会(環境)リジョンアンケート及活動計画について	古名屋ホテル
3月20日	プログラム(経済的・社会的開発委)リジョン環境シンポジウムアンケートについて	古名屋ホテル
3月20日	規約手続委員会リジョン規約手続委員会よりのアンケートについて	古名屋ホテル
3月20日	広報委員会 リジョンアンケート及日本会報原稿について	古名屋ホテル
4月3日	95年チャリティーディナー出演者打診	千葉舞浜
4月13日	ユースフォーラム参加要請、高校訪問	県立甲府第一高等学校
4月15日	甲府市食事サービスをすすめる会総会出席	県ボランティアセンター
4月17日	新入会員入会式(3名)	常磐ホテル
4月17日	プログラム例会 卓話“阪神大震災と山梨の地震災害” 講師大月短期大学教授 田中収様	常磐ホテル
4月26日	ソロプチミストの森春季清掃	
4月29日	県民緑化祭り式典出席	河口湖町 ステラシアター
5月9日	第2回チャリティーゴルフ大会“阪神淡路大震災遺児、激励寄附	湖口湖町小立富士桜カントリークラブ
5月12日	ユースフォーラム打合せ会	山梨学院大学附属高校
5月19日	民間国際交流団体連絡会議出席	県国際交流センター
5月20日	甲府湯田高校Sクラブ新入会員21名入会式	甲府湯田高等学校
5月20日	甲府湯田高高生徒2名奨学金贈呈	甲府湯田高等学校校長室
5月24日	山梨女性会議出席	県総合婦人会館
5月25日	山梨県女性プラン推進講座「女性プラン作りのこれまでとこれから」参加	県総合婦人会館
5月29日	腎バンク理事会出席	ニュー芙蓉
6月4日	黄色いハンカチ理事会出席	甲府市総合婦人会館
6月11日	第5回ユースフォーラム山梨予選参加 学生・生徒18名	山梨学院大学附属高校講堂
6月15日	第9回日本東リジョン大会出席	東京ニューオータニ
6月16日	〃 各委員会分科会出席	東京ニューオータニ
6月26日	世界平和女性連合山梨特別セミナー参加	甲府市総合市民会館
7月1日	社会参画実践講座(第4回世界女性会議とNGO)出席	県総合婦人会館
7月3日	甲府市婦人団体グループ研修会出席	甲府市総合市民会館
7月6日	県障害者福祉協会祝会、盲導犬寄付金に対し感謝状を受ける	岡島ロイヤル会館

年月日	活 動	場 所
7月8日	県内海外留学生と交流会実施	富士川ふるさと工芸館
7月12日	第31回献血運動推進全国大会出席	県民文化ホール
7月24日	日本東リジョンニュースフォーラム予選会出席	日本青年館
7月27日	S1武蔵野Sクラブ藤村学園との交流会	県ボランティアセンター
8月21日	クラブ親睦納涼会	河口湖ハイランド・リゾートH
8月26日	老人ホーム「聖明園」慰問	白根町聖明園

●クラブ理事会 毎月第2水曜日

●クラブ例会 毎月第3月曜日

●毎月継続活動 ライトハウス新聞リーディングサービス  
国立西甲府病院おむつたたみ

●リジョン内式典出席

'94年10月2日 S1相模認証10周年記念式典

'95年4月15日 S1埼玉認証20周年記念式典

●認証式出席

'95年2月2日 S1長岡みづほ スポンサークラブ S1長岡

4月7日 S1三鷹 スポンサークラブ S1武蔵野

4月27日 S1東京狛江 スポンサークラブ S1川崎

5月8日 S1東京麴町 スポンサークラブ S1東京-東

5月26日 S1町田さつき スポンサークラブ S1町田

6月1日 S1あやせ スポンサークラブ S1海老名

6月23日 S1志木 スポンサークラブ S1埼玉

## 寄 付 明 細

'94年9月～'95年8月

'94年9月 山梨県ボランティア協会バザー収益金寄付  
山日厚生文化事業団バザー収益金寄付  
日本東リジョン(奉仕会計)バザー収益金寄付  
山梨県共同募金(赤い羽根)  
日本野鳥の会  
ソロプチミスト日本財団  
内藤いづみ先生クラブ賞

10月 会長アピール  
バン格拉デッシュ子供盲目予防援助  
5-0プロジェクト  
ソロプチミスト財団  
識字プロジェクト  
国連難民救済  
ユネスココーアクション

12月 山梨県ボランティア協会チャリティーディナー収益金寄付  
山日厚生文化事業団チャリティーディナー収益金寄付  
テレビ山梨厚生文化事業団チャリティーディナー収益金寄付  
NHK歳末助け合いチャリティーディナー収益金寄付  
NHK海外助け合いチャリティーディナー収益金寄付

'95年1月 山梨県ボランティア協会賛助会費  
阪神、淡路災害援助金(日本東リジョン)  
阪神、淡路災害援助金(山日厚生文化事業団)  
ユニセフ国連児童カレンダー・カード

2月 黄色い帽子を贈る運動の会

3月 ミドリ奨学金(山梨県交通遺児)  
日本フォスター・プラン協会(フォスタープランチャイルド援助)  
国立西病院 晒20反

4月 阪神、淡路災害留学生援助金(大阪国際交流センター)  
ガールスカウト賛助金  
甲府湯田高校Sクラブ活動費

5月 甲府湯田高校奨学金  
甲府市の食事サービスを進める会  
アメリカ連盟(災害援助基金)寄付  
阪神、淡路震災遺児激励金チャリティーゴルフ純益金

6月 黄色いハンカチの会  
山梨腎バンク  
やまなし女性会議  
日本ユニセフ協会  
山梨県ボランティア協会(しおり協力費)

7月 山梨県障害者福祉ふれあい会議  
山梨重度心身障害者(児)を守る会  
山梨県日本赤十字血液運搬車寄付

8月 日本国際連合協会山梨県本部

他に、日用雑貨、衣料品等寄贈先  
・県ボランティア協会としびバザー一年2回  
・障害施設あゆみの家バザー  
・重度心身障害者(児)を守る会バザー  
・老人福祉施設白根聖明園等

## 委員会活動



'94.10.22 献眼、献腎街頭キャンペーン

腎移植、角膜移植推進街頭キャンペーン 保健奉仕委員 中村けさ代

平成7年10月22日、県腎バンク、県アイバンクなどは、この日、腎臓や角膜提供を呼びかける街頭キャンペーンを行いました。

山梨中央銀行本店前にて、私共も道行く人々にパンフレット、ティシュペーパー、花の種等配り協力を呼びかけました。

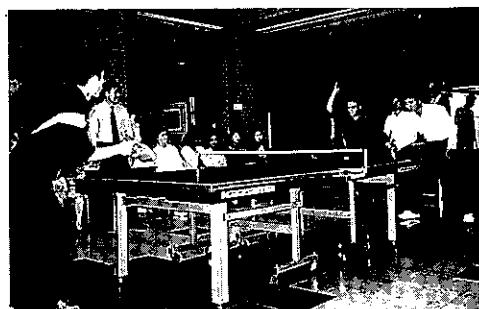
10月は、政府が定めた、じん移植推進月間にあたり、県の職員他ボランティアも、約150人近く参加しました。

その場で、バンクへの登録を受け付け、血圧測定や医療相談も行われました。県職員の話によりますと、本県の腎バンクへの登録者は約4,700人、アイバンクへの登録者は約6,500人、今まで7名の、腎移植手術が行われました。アイバンクは約100人の移植手術が行われております。県内で腎臓の提供を待っている人が1,000人以上居ると聞いております。

若年層の、登録者が少ないため、若い人々に登録を訴えたいとしております。

### 国際交流

IGU委員長 市川路子



'94.11.20 国際交流卓球大会

1994年の卓球大会は、11月20日“国際交流協会”主催による“シンフォニーアジア”の一環として行なわれました。各国際奉仕活動協力団体が多彩なイベントに協力する中で、その1団体として、S I山梨も責任を持ちました。上原S I山梨会長の挨拶の後、外国人同志の20組のペアで、トーナメント方式で進められます。試合前は和気藹々と腕試しが行われ、本番では、20点勝負を国籍の違う4人が協力し合い、実力を発揮するのですが、珍プレーも多く、真剣さの中にも笑いあり、時にはジェスチャーありで、言葉の壁を越え、汗だくだくでプレーするペア達の楽しい試合が展開されました。応援団もいろいろな国の、違う顔が並び、家族連れ、友達の熱気で、アツという間の2時間半でした。20日に亘る祭りのフィナーレを締めるにふさわしく、1台の卓球台を囲んで、皆が一つの目的に集えることの充実感を味わった日でした。

当クラブから寄贈した卓球台がこの様に山梨県下の外国人に広く愛用され嬉しい限りです。

山梨ライトハウスのクリスマス会 経済的社会的開発奉仕委員長 壬生倉紀子

経済的社会的開発、教育、環境、保健の4委員会メンバー10人は、1994年12月24日、精神薄弱、視覚障害、及びそれらを重複して持つ障害者と盲老人のための施設、青い鳥成人寮と青い鳥老人ホーム（山梨ライトハウス）へ、クリスマスケーキを持って訪問した。

成人寮では70人余の入所者が、この日のために、ホールをクリスマスツリーや趣好をこらした飾りつけて準備し、各々がローソクを持って集まっていた。

職員の方々の熱心な、根気よい教育の賜でしょうか、歌い、演じ、話しかける寮生達の姿に、私達の日常の生活が如何に感謝を忘れた日々であるかを知らされ、厳粛な気持ちになった。

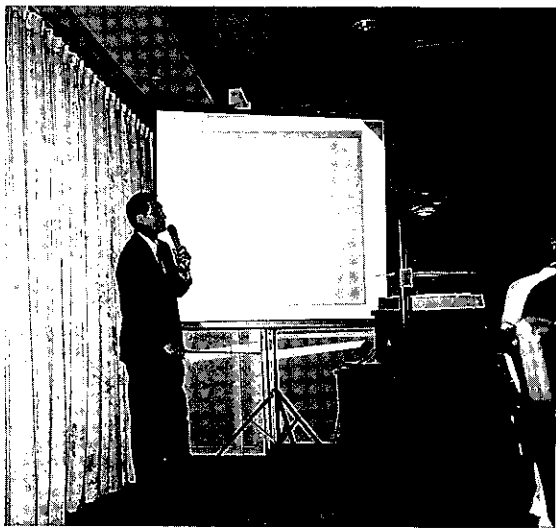
桐原ふじ子会員の指導により、盲目の寮生の伴奏で、「聖しこの夜」を一緒に歌い、キャンドルサービスを行い、シャンペンで乾杯。

寮生にとってこの日は一年中で一番楽しい日だとのこと。そして更に、ここの人達はお客様が大好きだということを伺い、又の訪問を約束し、心を残しつつおいとしました。

ソプロチミストとしての、プログラム委員会としての原点に、もう一度戻って考えるよい機会を得られたと実感した一日だった。



'94.12.24 ライトハウス、クリスマス会出席



'95. 4. 17 卓話、阪神大震災と  
山梨の地震災害

#### 認証記念例会卓話

副会長 小宮山美知子

春爛漫の4月17日3名の新会員をお迎えしての認証例会が常磐ホテルに於いて行われました。その折、阪神淡路大震災の後だけに私達会員も地震に対しての関心は極めて高く我が山梨にも大きな地震は起こるのか、その規模は、その被害はどの程度なのか等々不安な気持は誰れもが抱いている問題です。それを今回卓話として、大月短期大学教授、田中収先生に“阪神大震災と山梨の地震災害”と題してお話をさせていただく事が出来ました。先生はスライドと地図で示した資料を使い大変細く説明されました。過去のデーターを基に地震にも幾つかのタイプがある事、数年、数十年、数百数千年単位の発生間隔で必ず起るであろうと予想され相当な震動を覚悟しておく事。その対策として実際に住民に役立つのは各市町村ごとといった非常に小さな単位のいわゆる“災害危険度図”を作成しどこがどういふように危ないのかをきめ細く示したもので住民も行政も普段から知っておいて有事に備え対応する事が一番大事だと話されました。又地域の特性を知り自分の身は自分で守ることが重要だそうです。活断層という恐れられ悪者みたいに思われますが断層があるために南アルプス、北アルプスができ国立公園として素晴らしい景観をもたらしきれいで豊かな水もあり水については全国で一番恵まれた条件を持っているふる里の一つだそうです。水が豊富で温泉も湧くと云う大きなメリットもある訳です。お話は余談になり温泉談義となり山梨はどこを掘っても温泉は湧出すると、各温泉の成分-効能を説明なさり特に笛吹川沿に湧く温泉はアトピーに効能がある。と云うことでした。

40分と云う時間が非常に短かく感じられる大変楽しく有意義なお話をうかがうことが出来ました。

#### S1山梨第2回チャリティーゴルフ大会 実行委員長 田辺千枝子

1995年5月9日・S1山梨第2回目のチャリティーゴルフコンペを行いました。これは、この度の阪神大震災によって両親を失われた子供達のために、育英資金を贈りたいという目的をもって、このコンペの開催を計画致しました。

幸い富士桜カントリークラブの協力を得て、180名の予想以上の参加を頂き盛大に楽しいコンペが出来ましたことを、心より嬉しく思っています。素晴らしい天候に恵まれ富士の麗峰を眺めながらのプレーに、参加者の皆様がそれは喜んで下さいました。

姉妹クラブからも26名の参加を頂き、暖かい友情に感謝して居ります。この成功を見る事が出来ましたのも、実行委員の方々を始め会員全員が、一丸となってご協力して下さいました賜でございます。

また、沢山の賞品やビール券を御提供頂きましたので、収益金も予定を大きく上回りました。その上チャリティーホールでは、私供の趣旨をご理解下さったプレーヤーの方達が、沢山のチャリティーをして下さったことも、本当に嬉しいこととございました。

御陰で、阪神大震災遺児のための育英資金として65万円を、足長育英会の代表の方に当日会場にてお渡しすることができました。些細な金額ではありますが、遺児の方々の為にお役に立つことが出来れば幸いです。

持ち寄った賞品の包装やら番付、当日の受付、チャリティーの立番、或いはスコアカードのチェック等、それぞれ大変だったと思いますが楽しい思い出の残る仕事で有ったと思います。

いろいろとありがとうございました。



'95. 5. 9 チャリティーゴルフ大会



'95.5.20 Sクラブ入会式

### Sクラブ入会式

Sクラブ委員長 矢崎京子

平成7年5月20日、午後1時30分より、湯田高等学校に於いてSクラブ入会式が行われました。湯田高校Sクラブ会員は総数60名。今年の入会者は21名です。上原会長よりひとりひとりに会員ピンが授与されました。「SクラブのSはService = 奉仕のSです。若い時に人の為に何かの役に立ちたいと行動を起こすことは、今からの人生できっとプラスになるでしょう。」と会長より入会者に励ましの言葉がありました。中山校長先生からも、「いつもソロプチミスト山梨の皆様のご支援に感謝しています。奉仕という事実を示すことが大切です。奉仕を通して自分の中のやさしさを発見することでしょう。」とお祝いのことばを頂きました。主な活動として、月1回尚古園(老人ホーム)の訪問。身障者スポーツ大会のお手伝い。のぞみの会クレンソング採集。夏休み学童保育。ボランティア弁論大会、山梨県ボランティア大会、高校生ボランティア体験キャンプ参加。リウマチ友の会手伝い等です。この日出席した橘田会員からの3つのSの話をはじめ同席したソロプチミスト8会員よりそれぞれ心のこもった激励の言葉がありました。

学業、生徒会活動と忙しい中、生徒さん達の当然の様にボランティア活動をしよう、という心意気が伝わってきた1日でした。



'95.7.24 ユース・フォーラム

### ユースフォーラムに参加して

教育奉仕委員長 細田ふたば

'95年7月24日、東京日本青年館中ホールに於てS Iアメリカ日本東リジョン、第5回ユースフォーラム予選が開催されました。

きびしい山梨地区予選を通過した6名の学生が4クラブから出場しました。私達S I山梨からの学生は、男子1名、女子2名の計3名です。いずれも山梨学院付属高校の生徒です。英語科の奥山京子先生が付添って下さいました。さして広くない壇上に出場者50名が椅子にすわりプログラム通りに予選は進められて行きました。

初めの日本語に依る自己紹介(1分)は、学生達も余裕でした。次に、CBS2ヶ国語キャスター(審査委員長)であるハリ・フィニー氏のテーマ(貧困の根絶)に依る基調講演を聴き、それに対する英語に依る意見発表(3分間)は、さすがに生徒達も緊張し、レベルの差が私共にも感じられ、帰国子女とか、環境等による違いは如何ともしがたく、残念乍ら、山梨の学生達は入選を逸しました。

学生達は国連をバックの一つのテーマのもとに、この様に内容豊かな大会に出場出来た事は、青春に於ける輝かしい記録に間違いなく、我がソロプチミストのスケールの大きさに私達も感銘いたしました。

奥山先生も、「刺激になりました」と感謝しておられました。オブザーバーとして上原会長、市川さん(IJU)、広瀬さん(教育奉仕)、細田の4人が参加いたしました。





'94.9.2 バザーを終えて全員集合



'94.12.2 チャリティーディナー'94



'94.10.20 黄色いハンカチバザーお手伝



'94.12.2 チャリティーディナー'94会場風景



'94.12.24 ライトハウスクリスマス会



'94.12.18  
ハンドインハンド街頭募金



'95.4.17 新会員入会記念



例会風景 卓話



例会風景



'95.5.9 第2回チャリティーゴルフ大会(富士桜C.C.)



「あしなが育英会」代表 御礼挨拶



参加姉妹クラブの皆様



'95.5.20 Sクラブ新会員入会式



'95.6.11 ユースフォーラム山梨予選



'95.6.15 第9回日本東リジョン大会



## 入会に際して(新会員の挨拶)



雨宮和子

この度、伝統ある国際ソロプチミスト山梨へ入会させて頂き誠にありがとうございました。

ボランティア活動という言葉にはじめて接したのは、今から40年程前、まだ学生時代でした。三人の幼いお子様のうちお一人は重度の身体障害児を持つアメリカ婦人を知った時でした。その婦人が週1回のボランティア活動に1日も欠く事なく参加している姿にボランティアとはいったい何なのだろうと少々批判めいた心を交え考えたものです。

入会のお誘いを頂戴した時、「果して、私に、何が」と迷いに迷いましたが、自分自身の視点を身の周りから地域社会へ、それ以上に広いところにおく努力をし、皆様方の御指導を仰ぎながら一步一步進んでゆこうと思います。



望月淑子

この度、国際ソロプチミスト山梨に入会させていただきありがとうございます。皆様と御一緒に活動できる場を与えていただきましたことを感謝いたします。会の活動に参加させていただきながらそれを通して、社会のお役に立つことができれば幸いと存じます。

どうぞよろしく願いいたします。



中丸輝江

この度、国際ソロプチミスト山梨に入会させて頂きましてありがとうございました。

4月の認証式から例会に諸先輩の皆様とお会できます事、又奉仕活動に参加し、世の中の為に役立つ事が、ささやかでもできました時とても有意義に思います。

これから、できる範囲で頑張っていこうと思いますので皆様のご指導をお願い申し上げます。



# 感謝状

国際ソロプチミスト山梨殿

あなたは盲人障害者のために多額の金員を  
寄贈されましたこれは障害者福祉の増進  
に寄与するところ誠に大であります

よってここに深甚なる感謝の意を表します

平成7年7月6日

社会福祉法人山梨県障害者福祉協会

理事長 竹内 正直



# 感謝状

国際ソロプチミスト

山梨 殿

この度財団法人ソロプチミスト  
日本財団に多大のご寄付を賜わり  
ましたことに対しここに感謝状を  
贈り謝意を表します

平成七年三月三十一日

財団法人ソロプチミスト日本財団

理事長

久保

少子



◆ 1995年9月よりの役職 ◆

日本東リジョン規約手続委員 橘 田 禮 子

山 梨 ク ラ ブ 理 事 会

会 長	上 原 桂 子	コレスポ ンデイング セクレタリー	飯 島 朱 美	理 事	壬生倉 紀 子
副 会 長	小宮山 美知子	レコーデイング セクレタリー	広 瀬 玲 子	理 事	大久保 智 子
		トレジャラー	成 沢 洋 子	理 事	田 辺 千枝子
		アシスタント トレジャラー	秋 山 桂 子	理 事	市 川 路 子

編 集

広報委員長	小宮山 房 子	委員	入 倉 美奈子	飯 島 朱 美
			井 上 昌 子	手 塚 淳 子

## ソロプチミスト誓約

私達はソロプチミストとして、ソロプチミズムに  
忠誠を誓い

真摯なる友情  
偉業達成の喜び  
奉仕の尊さ  
誠実な職業  
国土愛

等を強調するその理想に忠実に従います。

私達は最善をつくしてこれらの理想を促進し、支持  
し擁護し、家庭、社会、実業界に於て、より大きな  
友情を築き、国家のため、神のために努力致します。

---

国際ソロプチミスト山梨事務局

甲府市中央3丁目11-15 上原 桂子 方  
電話 0552-33-1190

---